

首題争議之関シテハ屢報ノ通りナルカ其ノ後争議団ノ意氣ハ
昂進シ事件愈々拡大ニ至ラムトセシメ吉川戸畑市長ノ調停
ニ依リ十四日午前零時五分遂ニ円満解決ヲ見ルニ至リタル
カ其ノ状況尤ノ通り

記

一 罷業団側ノ行動

其後會社側代表ト数次會見交渉ヲ重シタルモ會社側
ノ主張ニ何等讓歩ヲク只管當初ノ懸懐懷柔策ニ操
從スノミナリシヲ以テ罷業団ニ於テハ愈々會社側ニ誠意ナ
クモト認メ此上ハ持久戦ノ覚悟ヲ定メ争議本部ニ戸畑
市若シハ幡市ニ移動シ工場内各部職工ノ奮起ト外部勞
働団体ヨリノ應援ヲ求メ花々敷最後ノ一人迄闘争シテ飽迄

目的ノ貫徹ヲ期スヘク既ニ其ノ家族ヲ含メテ御星ニ交感ヲ
シ一方代表者五名ニ依リ八幡戸畑小倉各市所在ノ各新聞
社ヲ訪問シテ事件ノ真相ヲ発表シテ其ヲ解ヲ求メ又一方行
商隊ヲモ組織シテ争議資金ヲ補充ヲ爲スヘク諸般準備ヲ整
ヘテアリシカ十三日午後別紙官(傳ビラ(謄寫版刷)一十枚ヲ
作製シ全日午後三時ヨリ會社門前ニ於テ交代職工ニ對シ約
三百枚ヲ配付シタリ

二 會社側ノ對策

會社側ニ在リテ既報如ク大連ヨリ飯京ノ重役山田參次郎ヲ去
ル十二日門司入港下関市春帆樓ニ入りタルヲ以テ森井工場長
山田副長及増崎技師ノ三名ハ急遽全地ニ出張シ重役意
見ヲ徴スルニ結局從來ノ方針ト何等変化ナキヲ以テ直々ニ